

助成番号：542

**招へい目的：帯広畜産大学と忠南大学との学術交流協定に基づき
「韓国における霊長類の外因性疾患」と題する特別
講演と今後の共同研究などについての打ち合わせの
実施**

外国人研究者名：金 明 哲 (キム ミン チョル)

国 籍：大 韓 民 国

所属機関・職名：国立忠南大学校獣医科大学・学長・教授

外国人招へい申請者：山田 明夫 (獣医学科教授)

1. 目 的

帯広畜産大学と忠南大学との学術交流協定に基づき「韓国における霊長類の外因性疾患」についての特別講演，学術情報交換及び今後の共同研究などについての打ち合わせの実施。

2. 期 間

平成 13 年 10 月 23 日～平成 13 年 10 月 27 日

3. 場 所

帯広畜産大学

4. 内 容

本学と忠南大学校獣医科大学とは、10 年前に学術交流協定を締結して以来、平成 6 年度、7 年度、9 年度および 11 年度に本後援会のご援助で教官を本学に招へいし学術講演と研究情報の交換を実施いたしました。また、平成 5 年度、8 年度、10 年度および 12 年度には本学獣医学科の教官がそれぞれ 2 名招待され、忠南大学校獣医科大学でのシンポジウムで講演し学術交流を深めました。今年度も本後援会のご援助で忠南大学校獣医科大学から推薦された二人の教授を本学に迎え、特別講演と今後の共同研究の打ち合わせを行うことができました。このように両大学の学術交流が着実に発展しておりますことは、教官の学術交流のみならず、双方の大学から留学している学生についての研究および生活指導にも非常に有益であり、忠南大学校獣医科大学からも高く評価されていると聞き及びます。

私は金明哲教授が外科の教授であることから獣医学科を代表し同教授の招へいを申請いたしましたので、金明哲教授の招へい内容につきご報告申し上げます。

金明哲教授は現在、忠南大学校獣医科大学の学長（わが国の学部長ないし学科長相当）として本学との学術交流を推進されているかたであり、初めての来学でした。帯広に到着された翌日には、学長を表敬され、招へいに感謝の意を表され、両大学間の学術交流につき意見交換をされました。金明哲教授には帯広畜産大学獣医学談話会において「韓国における霊長類の外因性疾患」と題する特別講演をしていただき、韓国における獣医学教育の現状と問題点についても本学獣医学科教官との意見交換もしていただきました。忠南大学校獣医科大学からの留学生が所属している原虫病研究センターを訪問され、研究の進捗状況をご確認いただきました。また、忠南大学校のみならず韓国からの留学生とも懇親を深めていただきました。翌日は野生動物の保護・増殖事業に大変興味をお持ちでしたので、阿寒湖の景観を鑑賞いただき、阿寒町と釧路市のタンチョウツル関連施設を見学していただきました。ここでわが国の野生動物保護・増殖事業の一端を理解していただきました。次の日には、十勝の畜産の試験研究機関（新得の道立畜産試験場と清水町のジェネティクス北海道の種牛センター）と十勝農業共済組合の家畜診療所（帯広）などの諸施設を見学していただき、わが国の畜産事と産業動物臨床の現状についても理解を深めていただきました。

本学と学術交流協定を締結している大学間で、このような双方向の学術交流が後援会のご援助により連続的に9年も実施されてきたことは非常に意義深く、双方の大学で高く評価されており、この学術交流がさらに発展する事を信じて疑いません。

このような機会を与えていただいた後援会に深謝いたしますと共に、この外国人研究者招へい計画をさらに充実・発展させていただくことを切望します。